

⑨白金庭園美術館と自然教育園+α(大円寺と雅叙園)

2018/9/19=>2018/7/18

2018年7月18日(水) 9:30 白金台駅 集合 1番改札口(後方・目黒側です)

- ・中川駅 8:42-8:44 夕-北 8:47-8:59 日吉(目黒線急行・浦和美園行3番線)9:07-9:30 白金台駅 267+381円
- ・中川駅 8:33-8:35 夕-北 8:41-8:52 日吉(目黒線・西高島平行3番線)8:59-9:25 白金台駅

散策ルート:(東京メトロ南北線)白金台駅→自然教育園→都立庭園美術館(旧朝香宮邸で解散、目黒駅から帰宅)
希望者は、目黒駅→行人坂→大円寺→目黒雅叙園→目黒駅へ

白金台駅から 9:40 自然教育園(60分)、10:30 都立庭園美術館(20分)、11:00 本館(旧朝香宮邸 60分)
※庭園美術館本館に入る所で解散とします。本館・展示館の鑑賞は各自自由に願います。

希望者は12:00頃、庭園美術館を出発。目黒通を西へ1km、途中目黒駅の横を通り、行人坂を下ります。
大円寺(五百羅漢、明和の大火の火元)を拝観、雅叙園(杉ルビ-見学) 目黒駅へ戻ります。

- ※国立科学博物館付属 自然教育園(月曜休園、高校生・65才以上無料、一般310円) 一周1km位 30~40分位
- ※都立庭園美術館(入園料65才100円 第3水曜が「デー」、第2・4水曜は休館)、展覧会/入館料は別(450円位)



目黒不動

↓不動前駅

- ・地下鉄「白金台駅」から目黒通を目黒駅方向に400m戻ると、どんぐり児童公園を過ぎた所に「国立科学博物館付属 自然教育園」の門があります。管理棟の受付で65才以上(無料)の確認を受け、リボンを受け取ります。(リボンは帰りに返却しますので、なくさないように願います)
- ・「自然教育園」を出て、目黒方向に100m行くと「東京都庭園美術館」の門があり、守衛さんが立っています。第3水曜はシルバーデー、受付で65才以上(450円が無料)の確認を受けて通ります。

国立科学博物館付属 自然教育園

室町時代に白金長者と呼ばれる豪族の館があり、白金の地名の由来。江戸時代は高松藩主松平頼重の下屋敷。明治時代は陸海軍の火薬庫になっていた。1917年(大正6年)に白金御料地に、戦時中は田畑や防空壕が掘られ荒廃した。戦後は「旧白金御料地」として天然記念物および史跡に指定「国立自然教育園」として一般公開。1962年(昭和37年)に国立科学博物館附属自然教育園となった。

散策:順路に沿って(管理棟→路傍植物園→水生植物園→水鳥の沼→館跡→管理棟で休憩)約800m 30分
(武蔵野植物園、森の小道は廻りません)春は桜、秋は紅葉ですが、緑の濃い中で憩いと涼を味わいましょう。
とにかく樹木の量が多く、できるだけ手を加えず自然なままに保とうとしているのがわかります。

東京都庭園美術館(旧朝香宮邸) 庭園 100円(館内見学は展覧会とのセット料金、65才以上450円) ←シブ`デ`無料
コンクリート造2階建、1933年(昭和8年)完成、内装はアールデコ様式の粋を尽くした瀟洒な建物。

戦後は外務大臣公邸にも使用、吉田総理が外相兼任の時期は事実上の総理大臣公邸「目黒公邸」とも呼ばれた。

1950年に西武鉄道に払い下げ、1955年に白金プリンス迎賓館、国賓来日の際の迎賓館として使用された。

1974年からプリンスホテルの本社として使用された。1981年に東京都に売却され、1983年(昭和58年)

都立美術館の一つとして公開。係員が黒服でちょっと物々しいです。庭園はよく手入れされています。

※本館の見学には1~2時間程度は欲しい、有料でも一見の価値あります。(第3水曜日はシブ`デ`で無料)

朝香宮鳩彦王(あさかのみややすひこおう)、久邇宮朝彦親王の第8王子(明治20年1887-昭和56年1981)

1910年(明治43年)明治天皇皇女允子内親王と結婚。(なお、昭和天皇の香淳皇后の叔父にもあたる)

1922年(大正11年)4年間フランス留学、パリ万国博覧会(アール・デコ博、1925年)も観覧。

1937年(昭和12年)上海派遣軍司令官、直後の南京攻略戦に参加、1939年(昭和14年)8月には陸軍大将。

※太平洋戦争終盤、主戦論者として本土決戦を主張・力説した。戦後は皇籍離脱しゴルフの宮と呼ばれた。

(1894日清戦争、1904~05日露戦争、1910韓国併合、1914~18第1次世界大戦、1923関東大震災、1929世界恐慌)

大円寺(通称:大黒寺、天台宗) 帯びたたい数の石像群(520体)は、明和の大火の犠牲者の供養。

明和の大火(目黒行人坂の大火とも、1772年4月、武州熊谷無宿の真秀という坊主による放火)

白金、神田、湯島、下谷、浅草まで及び、江戸の1/3を焼き尽くした。その数、町934、大名屋敷169、橋170、お寺382。

山王神社、神田明神、湯島天神、東本願寺、湯島聖堂、松平定信の屋敷なども被災。江戸城中のやぐらまで延焼し、

76年間も再建が許されず。薩摩藩主島津斉興(1859年)の菩提寺としてようやく再建。

「お七の井戸」の跡 八百屋お七の想い人、吉三ゆかりの寺(明王院)があった。(現在は雅叙園の敷地の一部)

吉三はお七が鈴ヶ森で処刑された後、出家し明王院の西運和尚となった。西運が行の際に、身を浄めた井戸が

「お七の井戸」として雅叙園に残っている。(明王院は明治に廃寺、仏像は大円寺に預けられた)

「八百屋お七」 浄瑠璃・歌舞伎などで有名です

天和(てんな)の大火(天和2年1683年、死者3500人)駒込の大円寺から出火、本郷の八百屋一家が吉祥寺に避難、

16才の娘、お七は寺の小姓(吉三)と恋仲になった。寺小姓に会いたいお七は、再び火事が起これば、また寺に行き

恋人に会えると考え、自宅に放火。鈴ヶ森で火あぶりの刑となった。

江戸3大火

・明暦の大火(振袖火事:明暦3年1657年)本郷丸や本妙寺など3ヶ所から(江戸城本丸も)、死者10万人

・明和の大火(目黒行人坂の大火、明和9年、1772年4月)目黒業人坂の大円寺から、死者1万4700人

・文化の大火(丙寅の大火、文化3年1806年)芝高輪の車町から出火(原因不明) 死者1200人

目黒雅叙園

細川力蔵が1931年(昭和6年)に料亭「目黒雅叙園」を開業、日本初の総合結婚式場でもあった。

絢爛たる装飾を施した園内は「昭和の竜宮城」とも呼ばれ、小説の題材にもなった。東京都指定の登録有形文化財

(建造物)、現在の敷地は1991年11月に総工費850億円でリニューアルしたもの。(今は外資ファンドの支配下ですね)

Arco Tower側から入り1階を見学して回ります。ロビーを出た所で解散。(200mほど登り坂を戻れば、目黒駅です)

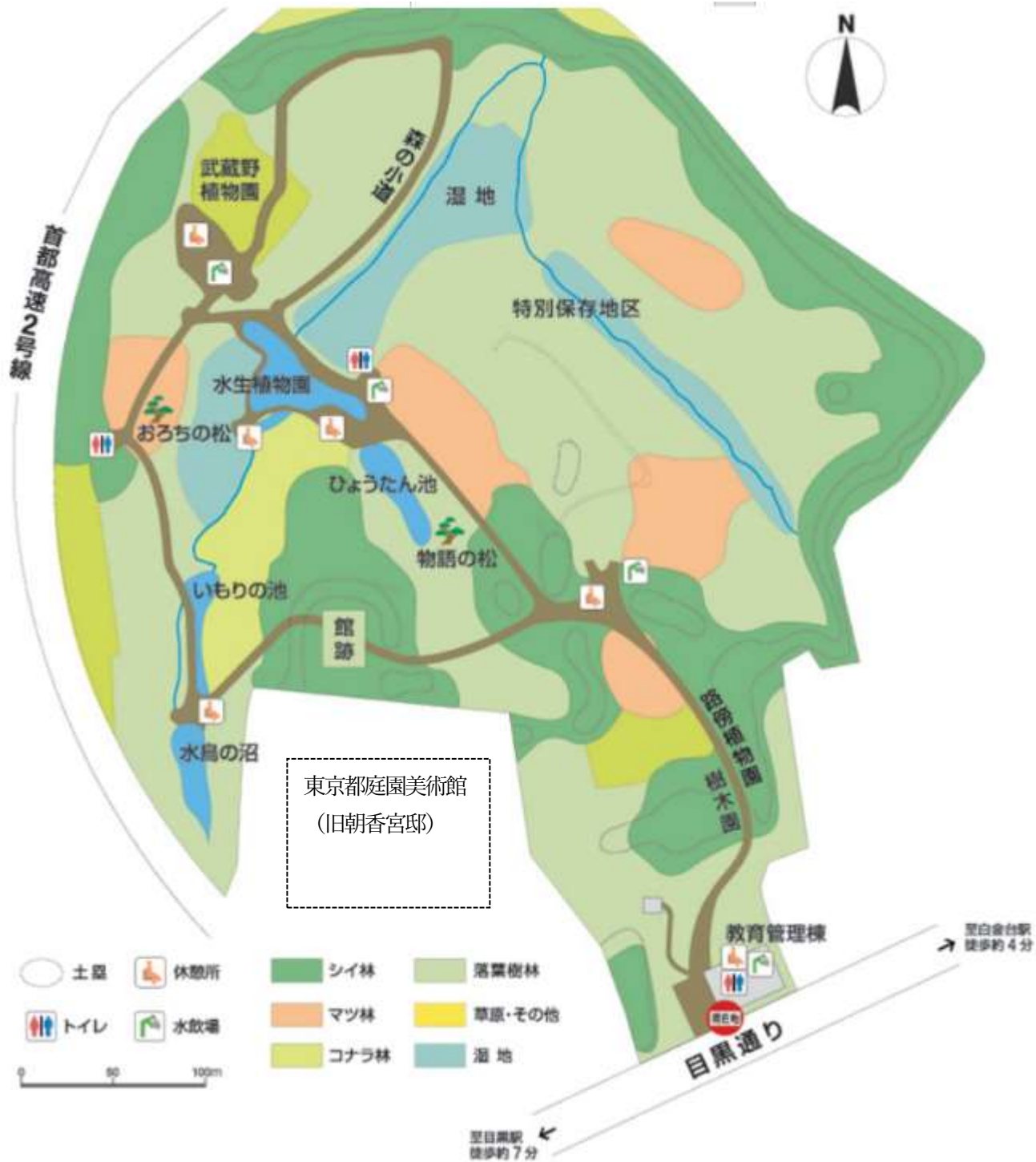
おまけ: さらに南西に1kmで **目黒不動**

独鈷の滝、勢至堂、大本堂、観音堂、鷹居の松、大日如来座像、青木昆陽の墓、比翼塚などあります。

(尚、目黒不動の周辺には食べる所はなし) 南東に500mで不動前駅(東急目黒線)、ここで食べられます。

(又、天恩山 五百羅漢寺もお勧めです、65才以上200円、見ごたえあります)

自然教育園 MAP 見学順路(管理棟→路傍植物園→水生植物園→(武蔵野植物園→森の小道)→水鳥の沼→管理棟)



東京都庭園美術館
(旧朝香宮邸)



庭園美術館 入り口



旧朝香宮の邸 (庭園美術館 本館)



日本庭園の茶室



様式庭園 芝生の広場



大円寺



お七の井戸 (雅叙園敷地内)



雅叙園正面入り口



アルコタワー(オフィス棟)



螺鈿細工の
エレベーター

絢爛豪華な
雅叙園内部、
結婚式場など
きらびやか

